

2013年05月14日

【格付維持】**同志社**

発行体格付： AA+ [格付の方向性： 安定的]

格付投資情報センター（R&I）は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

同志社の起源となる同志社英学校は、1875年に新島襄らによって設立された。1920年には関西地区で初めて大学令に基づいて大学に昇格するなど、日本の私立大学としては有数の歴史を誇る。同一法人内に同志社大学と同志社女子大学の2つの大学を持つことが特徴で、建学の精神である良心教育に基づいた、キリスト教主義、自由主義、国際主義といった教育理念は現在の組織運営にも生きている。

同志社大学は関東圏に次いで人口が多い関西圏の私立大学として入学難易度が最も高く、極めて強い学生募集力を維持している。キャンパス再編の完了で、文系学部は今出川校地での4年間一貫教育が実現した。入学試験における総志願者数は前年度に引き続いだ過去20年間で最多となった。国際化拠点整備事業「グローバル30」に加え、「グローバル人材育成推進事業」の採択を受け、国際展開に一段と積極的に取り組んでいる。古都として世界的に有名な京都市の中心部にキャンパスを展開していることは、学生募集と国際展開の両面で強みになっている。

財政運営は堅実だ。学校法人としては同志社大学など14の学校を9つの経理単位として把握し、独立採算を原則としている。経常勘定と建設勘定を分離した会計基準を採用し、設備投資に対するチェック機能を持たせている。入学者の増加や学費改定などから帰属収入は堅調で、2012年度の帰属収支差額比率は10%近い水準になる見通し。収支状況は良好と評価できる。格付の方向性は安定的。

【格付対象】

発行者： 同志社

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	AA+（維持）	安定的

**■お問合せ先
■報道関係のお問合せ先**：インベスターーズ・サービス本部
：経営企画室（広報担当）TEL. 03-3276-3511
TEL. 03-3276-3438

E-mail infodept@r-i.co.jp

株式会社 格付投資情報センター 〒103-0027 東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目ビルディング <http://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したもので、なお、詳細につき<http://www.r-i.co.jp/jpn/policy/policy.html>をご覧下さい。

©Rating and Investment Information, Inc.

NEWS RELEASE

信用格付に関する事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	下山 直人
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	神林 尚

信用格付を付与した日	2013年05月09日
主要な格付方法	R&Iの信用格付の基本的な考え方 [2012. 05. 07] 学校法人 [2012. 02. 24]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。	
http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/methodology/index.html	
評価の前提是、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。	
http://www.r-i.co.jp/jpn/ratingpolicy/index.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。	
http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/definition/index.html	
格付関係者	同志社
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報	決算書類
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界	
R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。	
R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。	